

日高軽種馬協たより

HBA

日高軽種馬農業協同組合

☎0146-22-2258 FAX 22-3452

令和6年3月1日

404

第 号

種牡馬展示会開催される

2月9日、JBBA静内種馬場にて種牡馬展示会が開催された。静内種馬場では新種牡馬のシャープアステカをはじめ、10頭が展示された。

シャープアステカは、父フロイド、母ソーシャープ(その父セイントリウム)という血統の10歳の米国产馬。現役時代は、ダートのマイル戦を主戦場に17戦8勝の成績を挙げ、メトロポリタンH(G I)やBCダートマイル(G I)などの主要なG I競走で2着となったほか、シガーマイルH(G I)では既にも日本でも種牡馬として実績を残すマインドユアビスケッツに5馬身1/4差を付けての勝利を取めている。父のフロイドはストームキャットの直仔にあたり、世界中で活躍馬を輩出したジャイアンツコーズウェイの全弟という良血馬。日本でのストームキャット系の活躍は、ヘニーヒューズをはじめとしてダートでの活躍に定評があるが、ドレフォンやブリックスアンドモルタルといった芝の活躍馬を輩出することも珍しくない。さらに本馬には日本でも馴染み深いBalladeのクロスが施されており、芝ダート兼用の活躍も見込めるだろう。種付料は150万円(受胎確認後)と発表されている。

このほか、レックススタッドでは新種牡馬のタイトルホルダー、ダンシングプリンス、マスターリーなど23頭が展示された。タイトルホルダーは、岡田スタッドの生産馬でドゥラメ

ンテの初年度産駒としてデビュー。3歳時に皐月賞2着、菊花賞では5馬身差を付けての優勝を飾るなどクラシック戦線を沸かせた。4歳春シーズンは日経賞(G II)、天皇賞・春(G I)、宝塚記念(G I)を三連勝で駆け抜け、秋には凱旋門賞に挑戦した。5歳時には、連覇を狙った天皇賞・春で競走中止というアクシデントに見舞われるも、秋に戦線復帰するとラストランとなった有馬記念では3着に好走した。早逝するまでの僅か4世代で8頭のG Iウイナーを誕生させたドゥラメンテ初の後継種牡馬とあって期待感は十分。種付料は350万円(受胎確認後)と発表されている。

アロースタッドでは、種牡馬ターオーケインズ、カフェファラオ、パンサラッサ、ファストフォース、ユニコーンライオンなど29頭が展示された。ターオーケインズの父は、昨年ついにNAR
(次頁へ続く)



本邦初供用となるシャープアステカ

第53回総代会開催のお知らせ

日時 令和6年3月15日(金) 午前10時30分～
場所 新ひだか町公民館・コミュニティセンター(新ひだか町静内古川町)
※詳細については第3頁に記載しておりますのでご確認ください

リーディングサイアーに輝いたシニスターミニスターで、G I を勝った産駒では初のスタッドインとなる。4歳時、チュウワウィザードに6馬身差を付けて勝ったチャンピオンズカップ(G I)がトップパフォーマンスであるが、このほか東京大賞典(G I)やJBCクラシック(Jpn I)を制し、常にダート界のトップホースとして戦い続けていた。種付料は250万円(受胎確認後)と発表されている。パンサラッサは、ドバイターフ(G I)とサウジカップ(G I)の2つの海外ビッグタイトルを奪取したほか、天皇賞・秋ではイクイノックスの後塵を拝したものの、持ち味のスピードを存分に活かした大逃げで存在感を示した。種付料は300万円(受胎確認後)と発表されている。優駿スタリオンステーションでは、新種牡馬ウエストオーバー、オナーコード、ジュンライトボルト、ヴェラアズールなど30頭が展示された。ウエストオーバーは英国産のフランケル産駒で、アイルランドダービー(G I)とサンクルー大賞(G I)の、2つの2400m G I を勝利している。2023年シーズンはG I ばかり5戦を走り、全て連対を果たす安定感を披露した。その中身も、ドバイシーマクラシックではイクイノックスの2着、凱旋門賞ではエースインパクトの2着と濃いものであった。種付料は250万円(受胎条件)と発表されている。

社台スタリオンステーションでは、新種牡馬イクイノックス、シュネルマイスター、グレ

ナディアガーズなど30頭が展示された。イクイノックスはキタサンブラックの初年度産駒で2022年、2023年の年度代表馬。生涯10戦すべてで連対を果たし、敗戦を喫したのは皐月賞とダービーの2戦のみで、3歳で挑んだ天皇賞・秋以降は土が付かなかった。なかでもドバイシーマクラシックで見せたパフォーマンスは特筆すべきもので、世界中に衝撃を与えた。ラストランとなったジャパンカップでは、三冠牝馬・リバティア일랜드なども出走していたが2着以下をまったく寄せ付けず走り、有終の美を飾った。引退後、ロンジンワールドレーシングアワードで発表されたレーティングは135と、エルコンドルパサーの134を更新して日本歴代最高の評価を得た。種付料は初年度としては日本史上最高の2,000万円(受胎確認後)と発表されている。

これらのほか、スプリンターズステークスを制したピクシーナイトを繋養するブリーダーズステーション、キタサンブラックの全弟であるネクサスハートを新たに迎えたイーストスタッド、デビューから3連勝でG I 奪取となったダノンザキッドを繋養するビッグレッドファーム、ジャンタルマンタルが朝日杯フューチュリティステークス、ノーブルロジャーがシンザン記念をそれぞれ制し、本邦種付前に話題沸騰中のパレスマリスを繋養するダーレージャパン(株)などが展示会をおこなった。

各地区軽種馬生産振興会総会・地区懇談会 開催される

各地区振興会総会が、2月1日(木)の荻伏地区を皮切りに、14日(水)の浦河地区まで7地区において開催された。2月7日(水)におこなわれた静内軽種馬生産振興会総会では、冒頭の永年勤続従業員表彰などが催され、総会終了後には重賞表彰ならびに重賞祝賀会が開催された。また、各地区振興会総会に併せて、地区懇談会を5年振りに開催した。HBAでは、事務局より財務状況や決算内容、事業計画・収支予算について説明した後、北海道市場事業部より今年度の北海道市場について、セレクトセールの変更点などの説明があり、混雑が予想されるサマーセールとセプテンバーセールの分散上場についての協力を依頼した。その後の質疑応答では、各組合員から「預託料調査をして指標を出してもらいたい」「展示場内で危険が及ばないようにアナウンスをお願いしたい」などといった意見や要望が寄せられ、担当委員会や理事会で協議することとした。

第53回総代会開催のお知らせ

日 時 令和6年3月15日(金) 午前10時30分～
場 所 新ひだか町公民館・コミュニティセンター
(新ひだか町静内古川町)

〈提出議案〉

- 議案第1号 令和5年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案および注記表の承認について
- 議案第2号 生産振興積立金（定款第58条に定める目的積立金）の設定について
- 議案第3号 市場振興積立金（定款第58条に定める目的積立金）の設定額の変更について
- 議案第4号 （定款附属書）役員選任規程の一部変更について
- 議案第5号 令和6年度事業計画並びに収支計画の承認について
- 議案第6号 令和6年度賦課金の賦課および賦課徴収の方法について
- 議案第7号 北海道市場施設の整備について
- 議案第8号 役員報酬の支給について
- 議案第9号 系統団体等に対する出資・出えんについて

総会開催のご理解及び「議決権行使書面」「委任状」の提出をお願いします

本年も総会シーズンを迎え、組合員の皆様には時節柄出産シーズンと重なり大変ご多忙のことと存じます。

総代の皆様には議決権の行使をお願いしたく、ご面倒でも「議決権行使書面（HBA総代の皆様へは葉書を同封しています）」「委任状」提出のご協力をお願いいたします。

議決権行使書面につきましては、同封の「議決権行使に当たっての留意事項」を必ずご一読のうえ、ご記入下さい。HBAの議決権行使書面の提出期限は3月14日午後5時までです。（投函される場合は、3月13日までに投函をお願いします。）

○日高軽種馬農業協同組合第53回総代会（上記日時にて開催）

○公益社団法人日本軽種馬協会令和6年度通常総会

（3月28日(木) 13時30分～ 第一ホテル東京（東京都港区新橋1-2-6））

※公益社団法人 日本軽種馬協会総会委任状は、3月19日（月）までに下記宛 FAX送信または郵送願います。

〒056-0002 北海道日高郡新ひだか町静内神森175-2

日高軽種馬農業協同組合総務部宛

T E L : 0146-42-1200 F A X : 0146-43-3464

理事会の内容について

【第1回理事会】

◇令和6年1月19日 13時30分 静内支所

〈報告事項〉

1. 令和5年度北海道市場運営協議会の内容について
2. 第1回総務・診療委員会の内容について

〈議案〉

1. 組合員の加入について
2. 令和5年度事業報告並びに収支決算の内容について
3. 市場空調設備改修工事の実施について

【第2回理事会】

◇令和6年1月31日 13時30分 静内支所

〈報告事項〉

1. 第1回市場委員会の内容について

2. 第2回総務・診療委員会の内容について

〈議案〉

1. 令和5年度決算監査について
2. 令和5年度剰余金処分案について
3. 令和6年度事業計画並びに収支予算案の策定について
4. 市場業務規程の改正について
5. 第53回総代会提出議案について

【第3回理事会】

◇令和6年2月19日 11時00分 静内支所

〈報告事項〉

1. 各地区懇談会の内容について
2. 人事異動の内容について

〈議案〉

1. 第53回総代会提出議案について

ペプチドナイル 初重賞制覇はビッグタイトル!

2月19日、2024年最初のJRA・GIフェブラリーステークスが東京競馬場でおこなわれ、11番人気の伏兵ペプチドナイル（浦河・宍杵臼牧場生産）が勝利した。本馬はこれまでオープンクラスでの勝利は3度あったものの重賞勝利はこれが初めてで、初の重賞勝利がGI制覇となった。

レースでは、スプリント重賞覇者のドンフランキーがハナを切る展開となり、前半の3ハロンは33.9秒と過去10年を振り返っても例を見ないほどの速い流れとなった。好スタートを切ったペプチドナイルは、楽な手応えのまま4番手へと付け好位を維持したまま直線へ向かう。じわじわと加速し残り200mに差しかかる辺りで先頭へ躍り立つと後続を引き離しにかかる。後方へ脚を溜めていたタガノビューティーらが襲いかかるが、抜け出したペプチドナイルの末脚のしぶとさがそれらを上回り1馬身1/4差を付けての勝利となった。2、3着争いはクビ・ハナの混戦となり、初のダート挑戦となったガイヤフォースが2着、後方14番手から最速の上がりを使ったセキフウがハナ差でタガノビューティーをかわし切った。

オーナーの沼川一彦氏は馬主生活31年目で初の重賞・GI制覇、生産者の宍杵臼牧場にとってもテイムオペラオーが勝った2001年天皇賞・春以来23年ぶりのGI制覇となった。また、開業7年目となった武英智調教師にとっては初のGI制覇となった。

- ◆ペプチドナイル（牡6） 父キングカメハメハ 母クイーンオリーブ（byマンハッタンカフェ）
馬主：沼川一彦氏 生産者：宍杵臼牧場（浦河） 栗東・武英智厩舎所属
通算成績：20戦8勝 獲得賞金：2億6,259万円
主な勝鞍：24年フェブラリーステークス（GI）、23年ベテルギウスステークス（L）など

新生子馬の蘇生方法

静内診療所 井上 哲

よもやま話シリーズ2021年3月では、子馬が生まれる際に体の中で起きている変化についてお話しさせていただきました。今回は何らかの原因で、スムーズに生きるための機能を獲得できずに産み落とされた子馬への蘇生処置について説明させていただきます。

私事になりますが妻の仕事の関係上、帝王切開で生まれた子犬の蘇生を手伝う機会があります。この場合、鼻先が少し出るように両手で優しく包み込み、遠心力で羊水が排出されるように振り下ろしたり、直接口で吸引したりします。そしてタオルで体を擦り自発呼吸を促します。大動物でも、逆さに吊るし顔を振るようにして羊水を排出させ、後頭部に冷水をかけるよう指導された記憶があります。これらは、多量に吸引した羊水による気道抵抗の改善、呼吸中枢の刺激により自発呼吸の開始を後押しするための処置と解されます。しかし、子牛ならまだしもさらに大きい子馬では苦勞した経験をされた方もいるかもしれません。十分に羊水を除去できないまま酸素マスクをあてているケースもあるでしょう。きれいな羊水であれば問題も最小限で済みますが、蘇生が必要な新生子馬においては胎便で混濁していることも少なくありません。最近では分娩時の蘇生キットとして、当初子牛用として市販された、引く押す形式の簡易型人工呼吸器も広く普及していると思われま。これを用いて蘇生効果を検証した報告においても送気（肺に空気を押し込む）よりも吸気（羊水除去）が重要で十分な羊水吸引後、空気を送り込むことでさらに良い結果（初乳からの免疫グロブリン吸収促進等）が得られたとのこと。



では一体どれくらい吸引すれば良いのかという疑問が生じます。キットの説明書には4から5回の吸引と書かれていますが、個人的には羊水性状が粘液性から泡沫性になったタイミングで送気に変更すれば良いのではないかと考えます。羊水中には、子馬の肺胞から分泌された肺サーファクタントというガス交換を容易にする物質を含んでおり、泡沫性の羊水はこれが活性している証だからです。ヒトの未熟児では、人工肺サーファクタントの投与で救命率が確実に上昇したと言われますが、馬への応用は費用対効果の面から現実的ではありません。今後のこの分野での発展に期待したいと思います。





ひだか・ホース・フレンズ たより

ひだか・ホース・フレンズは昨年未までの3年間で実参加43名、延べ49名の方に研修参加を頂きました。この中から推計11名の方が生産牧場就職など管内の馬産業に携わっております。2024年に入ってから研修生受け入れ状況、予定についてお知らせします。

○研修生受け入れ状況

1月 50代女性 体験4日間

○今後の受け入れ予定（2月現在）

2月：20代女性2名 大学生 体験11日間

3月：10代女性 体験8日間

4月：20代男性 体験・就職希望 新卒者

30代男性 就職希望2度目

5月：40代女性 就職希望2度目

※研修生の受け入れについて

研修生の求職活動は、研修生自らハローワークを通じて行うこととしています。事務局では、牧場選択の参考資料となるよう受け入れ可能な牧場をリストアップし、研修生へ資料提供を行っています。掲載希望の方は各地域 JA の営農担当者様を通じ申し込みください。

・既に資料提供頂いている方へ確認票を送付させていただきます。現況についてお知らせください。

○ひだか・ホース・フレンズ

WEBサイト<https://www.uma-tomo.com/>



Instagram : umatomo.hidaka

Facebook : UmaTomo.Hidaka

Twitter (X) : @UmaTomo_Hidaka

お問い合わせは 日高軽種馬農協 業務部 0146-42-1200までお願いいたします。